

# プラスチック削減プログラムの概要

## プラスチックの持続可能な利用に向けて

- 資源の大量消費が引き起こす気候変動と生物多様性損失を食い止めなければならない
- 東京の資源消費の上流で生じているCO<sub>2</sub>の削減に取り組み、世界全体でのCO<sub>2</sub>実質ゼロに貢献

2050年CO<sub>2</sub>実質ゼロ、海洋プラスチックゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す

## プラスチックの持続可能な利用に向けたロードマップ

- ・ 大幅なリデュースと使い捨てプラスチックの廃絶
- ・ プラスチックを持続可能な「価値ある素材」に転換
- ・ 水平リサイクル等の革新的技術の実装・普及
- ・ 海洋へのプラスチック流出をゼロに

### Goal - 都が目指す2050年の姿 -

- CO<sub>2</sub>実質ゼロのプラスチック利用
- 海洋プラスチックゼロ

※ 水平リサイクル：元の樹脂と同等の品質の再生樹脂を得るリサイクル

### Milestone - 2030年目標 -

- 家庭と大規模オフィスビルから排出される廃プラスチックの焼却量を**40%削減** (2017比)

- ・ 共感を広げ、行動変容を促進
- ・ 先進的な企業と連携したイノベーションの創出
- ・ 区市町村と連携した分別・リサイクルの促進強化
- ・ 国内循環ルート構築、海ごみ発生抑制

2030年

2020年

東京2020大会で使い捨てプラスチック削減と廃プラスチックの高度リサイクルを実現

## 2030年目標の達成に向けた主な施策 - リデュース・リユース・水平リサイクル -

- **使い捨てを徹底的に見直し、リユースを基調とした社会へ**
  - ・ 使い捨てプラスチックに依存しない
  - ・ **新たなビジネスモデルの促進** 等

(例) リターナブル容器による商品提供



- **循環的利用の高度化**
  - ・ 区市町村による**プラスチック製容器包装の分別収集拡大**の促進
    - 費用面、施設面の課題解決に向け、区市町村と連携
  - ・ **3Rアドバイザー**が業務系ビルの分別・リサイクルを促進
  - ・ ペットボトルの**ボトル to ボトル**の推進
    - 飲料メーカーと連携し、モデル事業等を実施
- **廃プラスチックの国内循環利用促進のための緊急対策**
  - ・ 廃プラスチックリサイクル市場のひっ迫に対応、不法投棄等の防止のため、業界団体と連携し、**新たな資源循環ルートの構築**を推進
- **TOKYO海ごみゼロアクション、焼却・熱回収からの転換** 等

## 施策の進め方 - パートナーシップとイノベーション -

- **東京2020大会を契機として**
  - ・ 使い捨てプラスチック削減と高度で質の高いリサイクルを推進
- **パートナーシップ、国際的な連携**
  - ・ 「チームもったいない」での連携、都内企業・大学との連携
  - ・ スポGOMI in Asia開催 等
- **ルールづくり、革新的な技術・ビジネスモデルの導入促進**



スポGOMI in トムスク (ロシア)